

# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

---

## 「医療機関に於けるCDRの活動」 に関するアンケート調査結果

2017年4月22日

日本不整脈心電学会  
CDR・IBHRE認定制度委員会  
野上 昭彦



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

---

## 目的

- CDR認定制度の発足から10年を経て、認定者の位置付けがどの様に変化したのかを明らかにするとともに、将来に向けた期待や課題を明らかにすることを目的にアンケート調査を実施。



## 調査対象者

- ① 日本不整脈デバイス工業会（JADIA）および  
日本医療機器販売業協会（JAHID）所属の  
CDR認定取得者（1,825名）
- ② 日本不整脈心電学会（JHRS）正会員  
（3,653名）



## アンケート調査内容

- ① CDRの認知度
- ② CDRの活動内容の現状
- ③ 医療機関のCDR認定者への対応
- ④ CDRに期待される役割
- ⑤ CDRが医療現場により受容されるための方策
- ⑥ CDR認定制度の将来像



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

## アンケート集計

【調査期間】

平成29年1月18日～平成29年2月28日

	回収数	回収率
CDR認定者	616	33.8%
JHRS正会員	162	4.4%
<b>計</b>	<b>778</b>	<b>14.8%</b>



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

---

## アンケート調査結果①

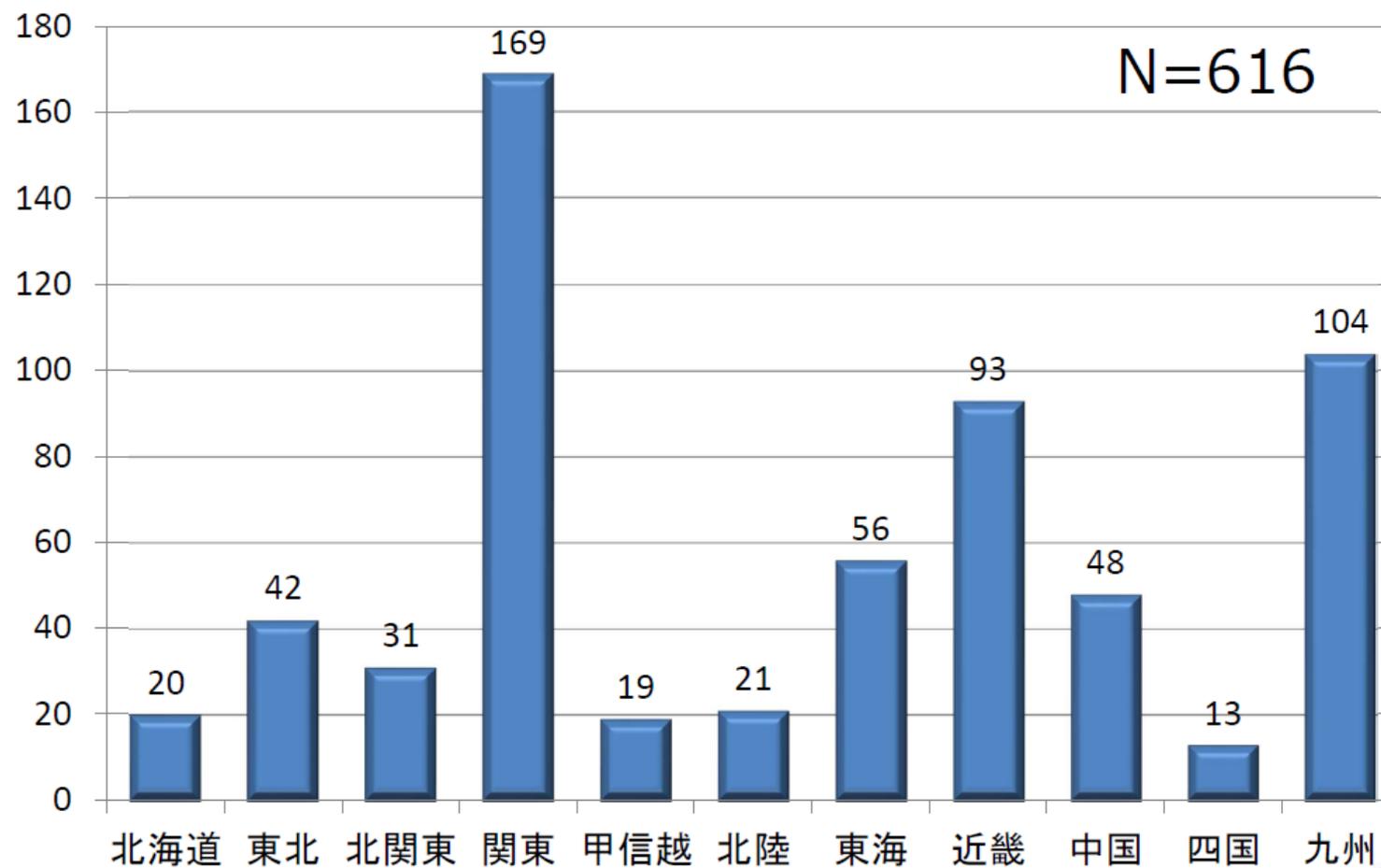
回答者属性



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

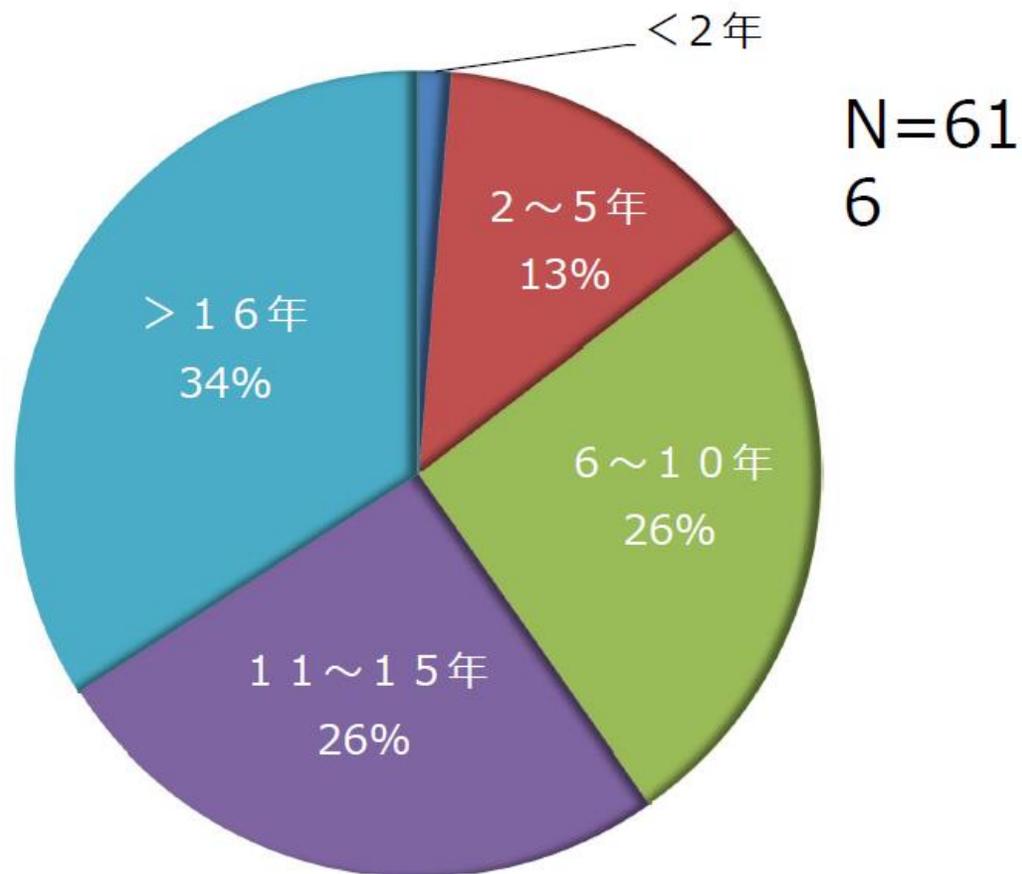
あなたの主たる担当地区をお答えください。

CDR



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

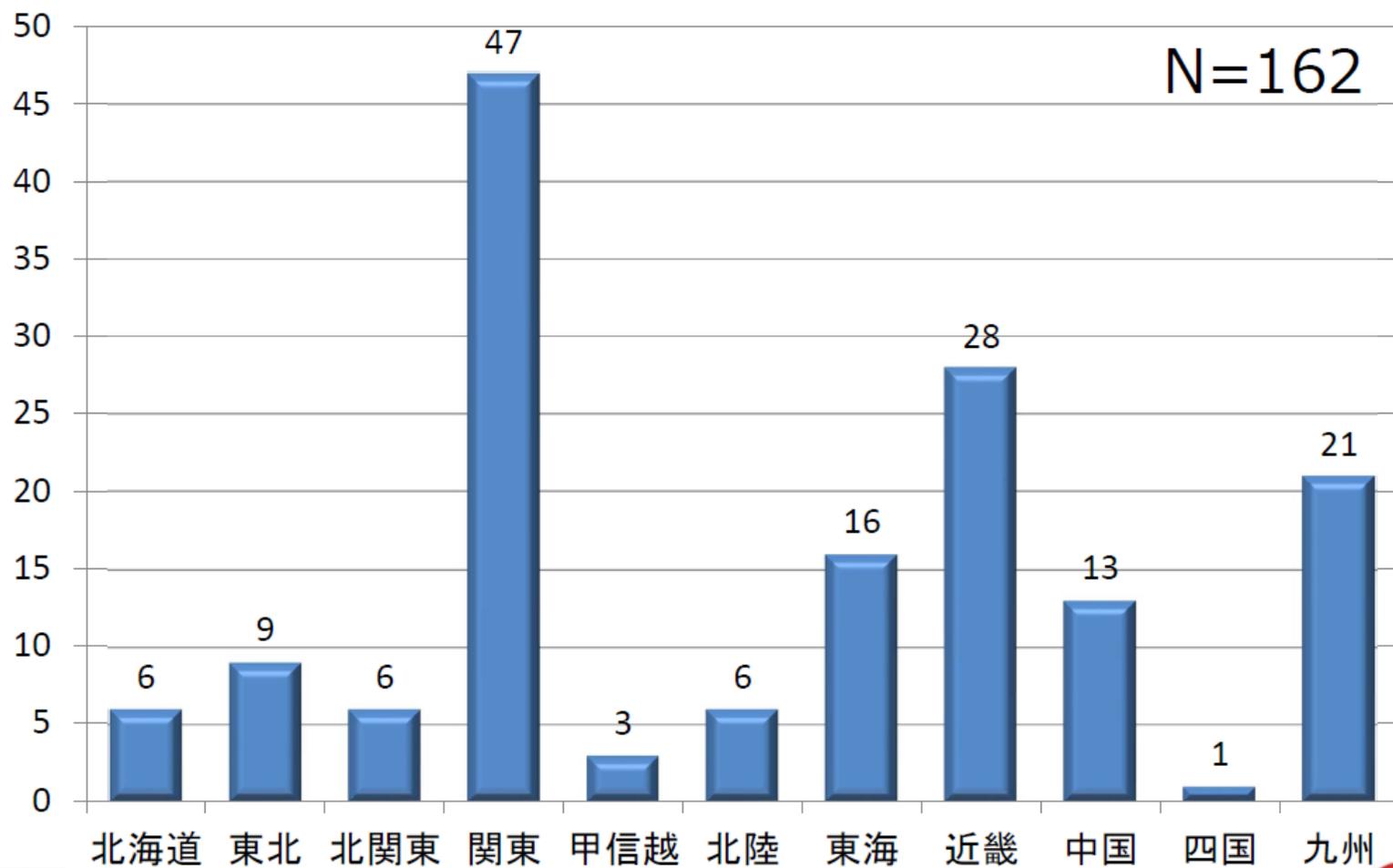
あなたの心臓ペースメーカー業界での経験年数をお答えください。



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

先生の現在勤務されている地域をお答えください。

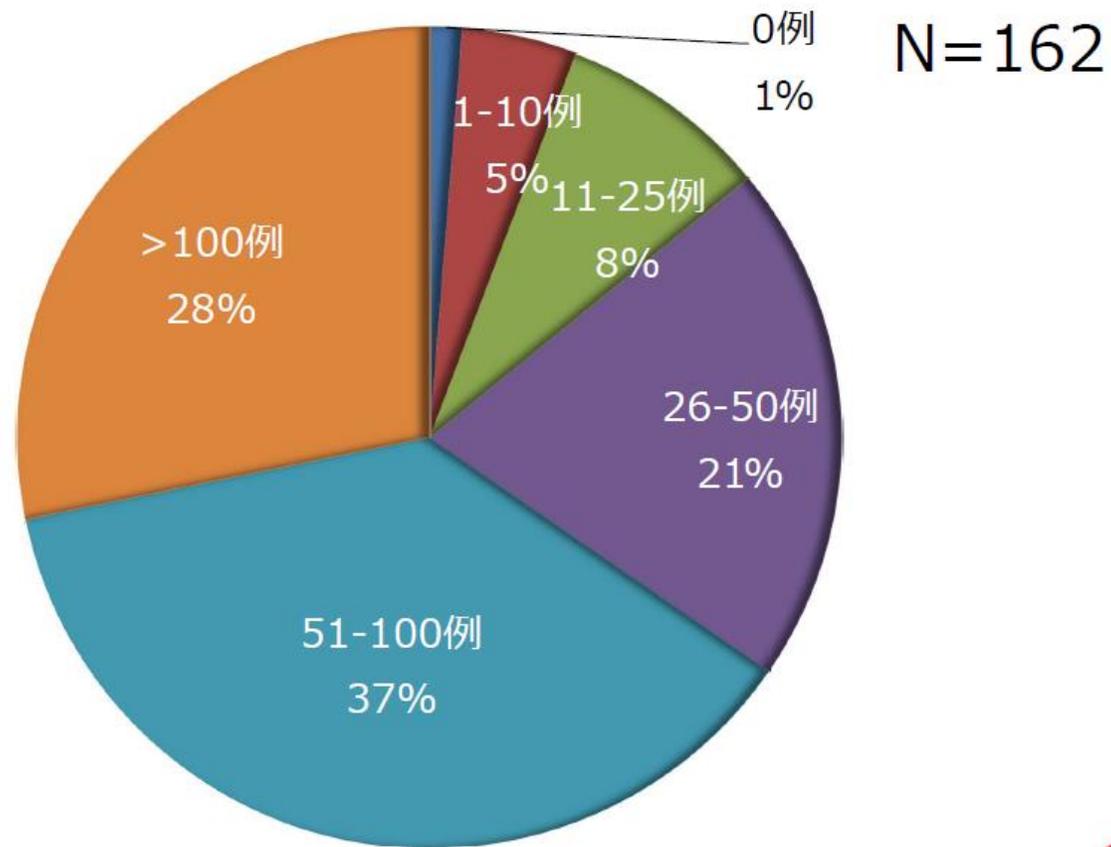
正会員



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

年間のペースメーカー植込み症例数(交換含む)をお答えください。

正会員



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

---

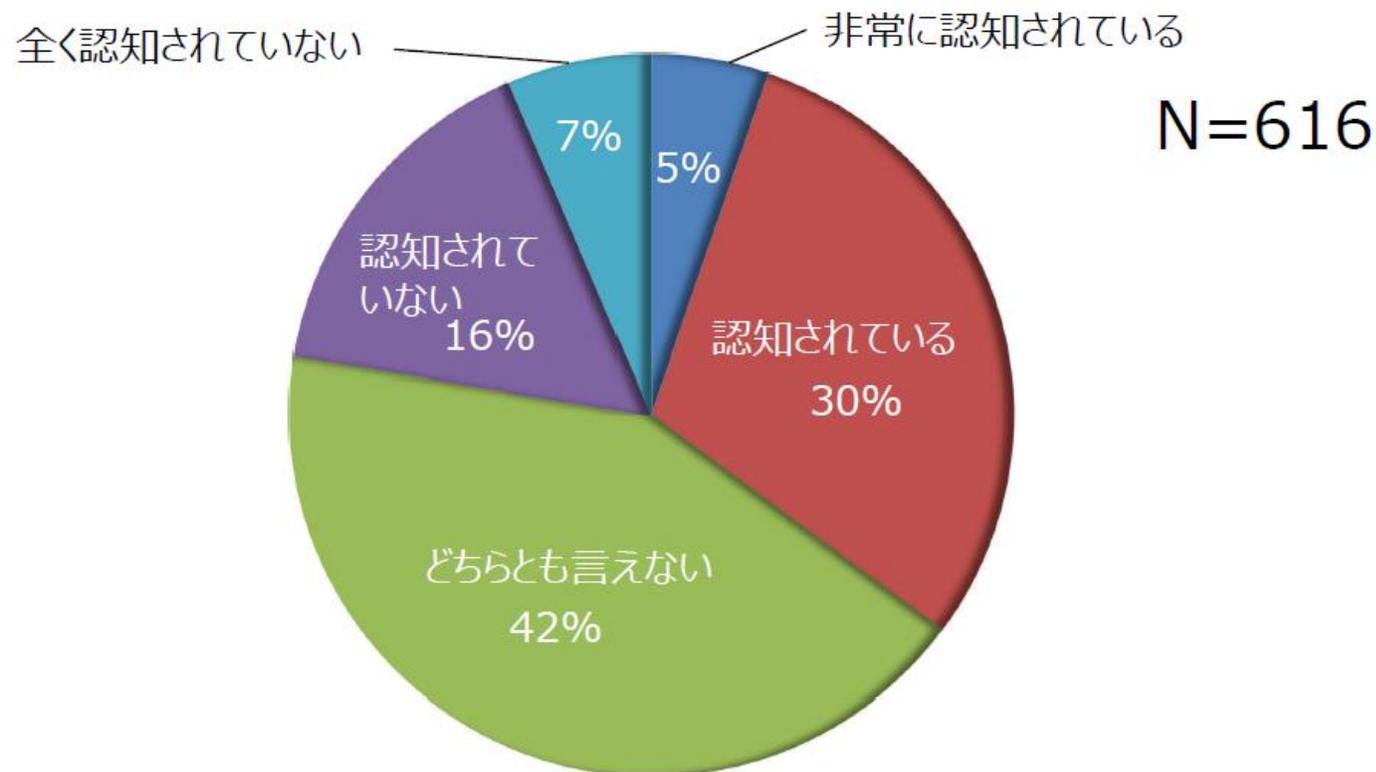
## アンケート調査結果②

設問回答

# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

CDR

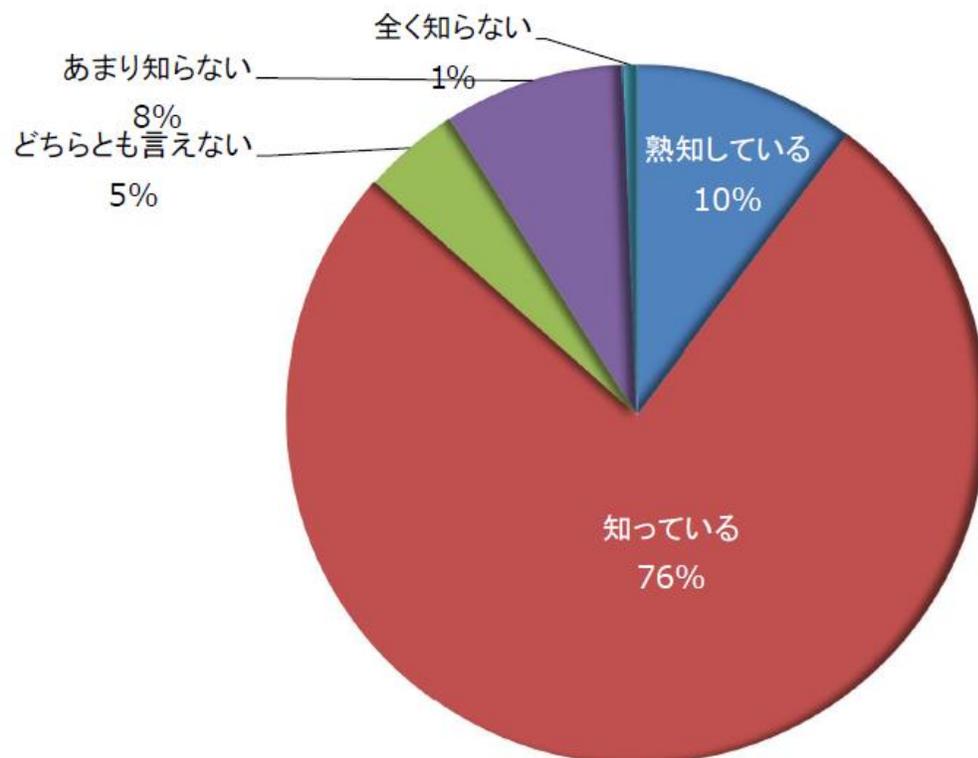
あなたは医療機関からCDR認定者として  
認知されていると思いますか？



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

日本不整脈心電学会が認定する  
CDR認定制度をご存知ですか？

正会員

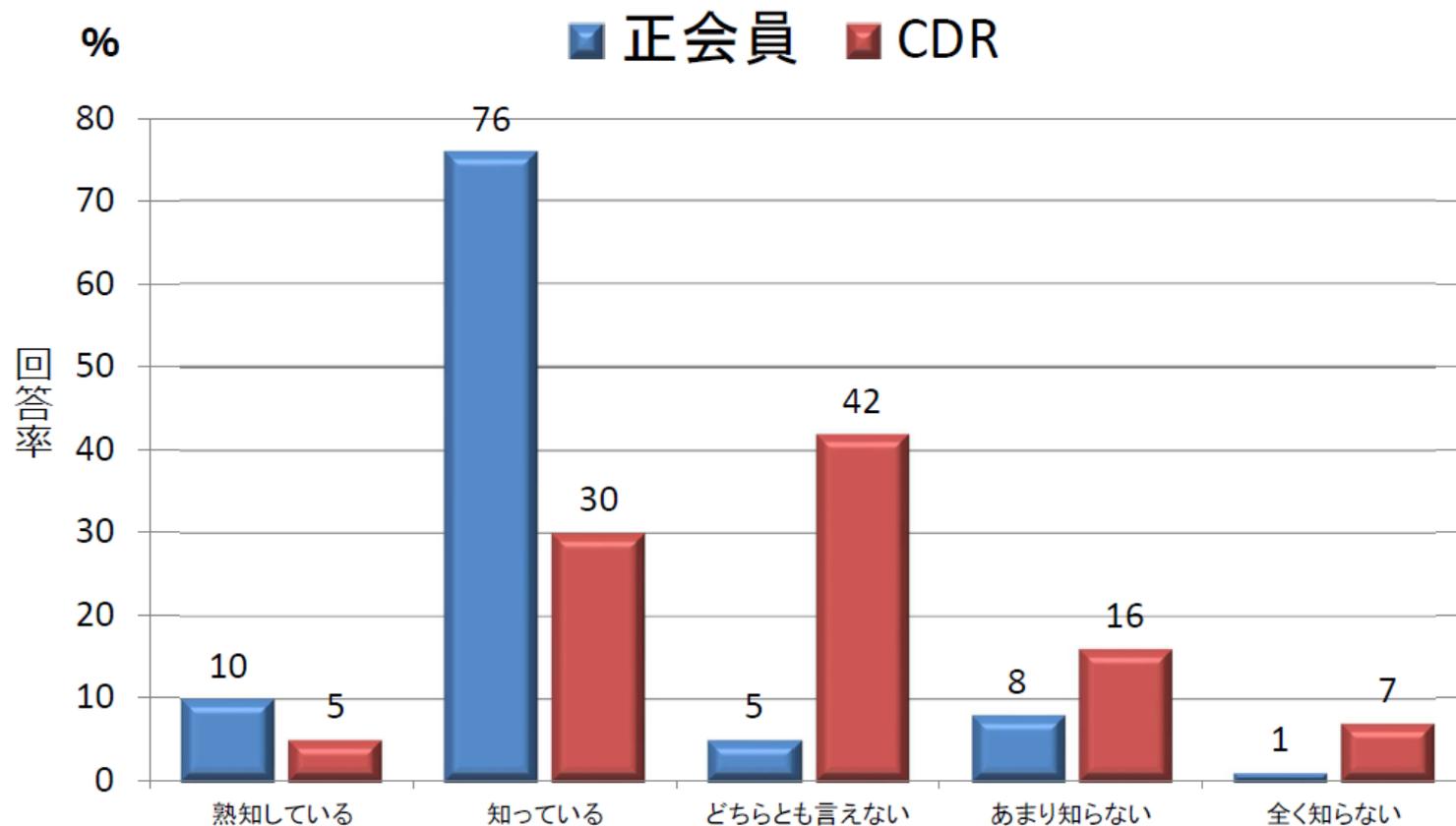


N=162



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

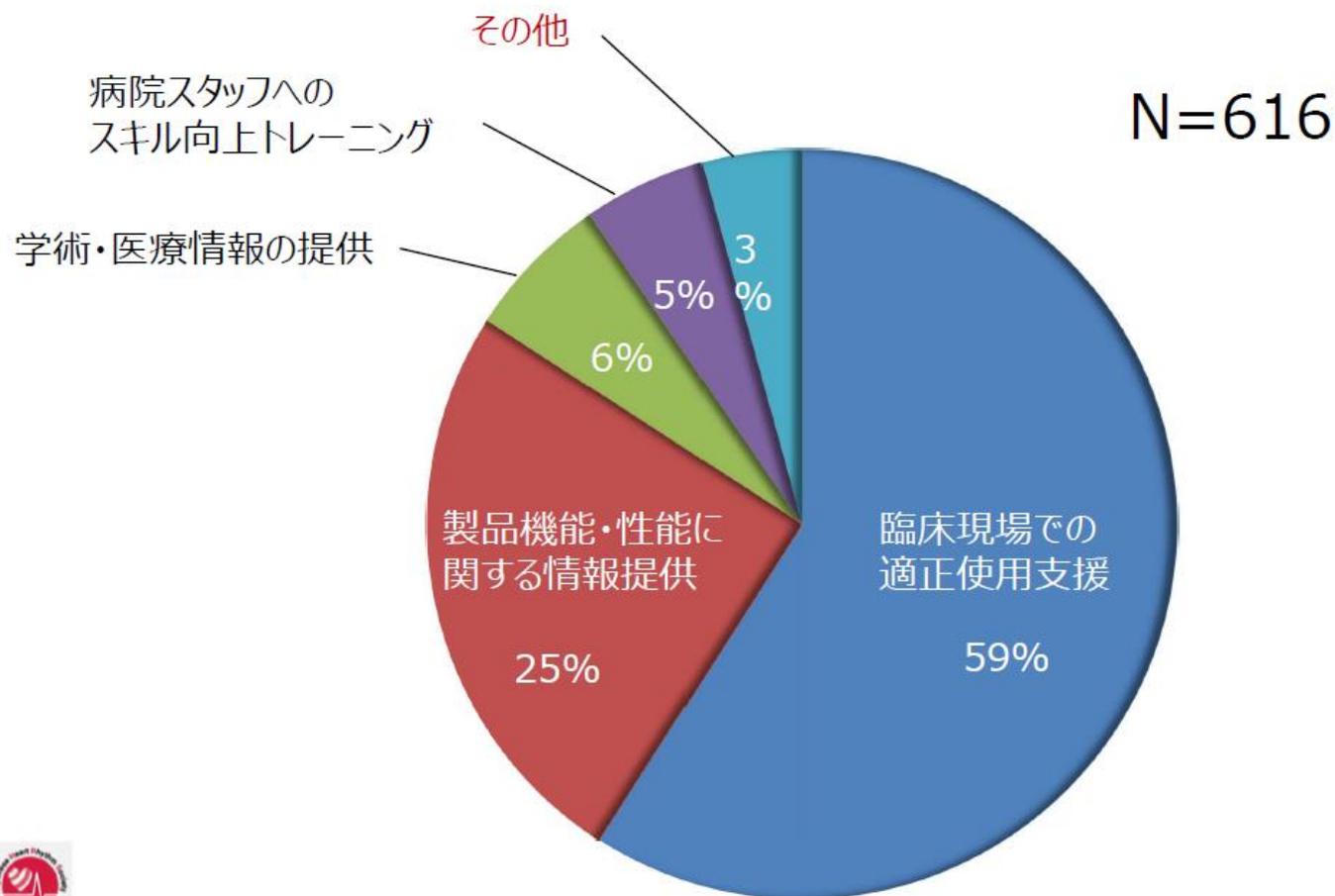
## CDRの認知度



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

医療機関内におけるCDRの主たる活動は  
現在どのようになっていますか？

CDR



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

CDR

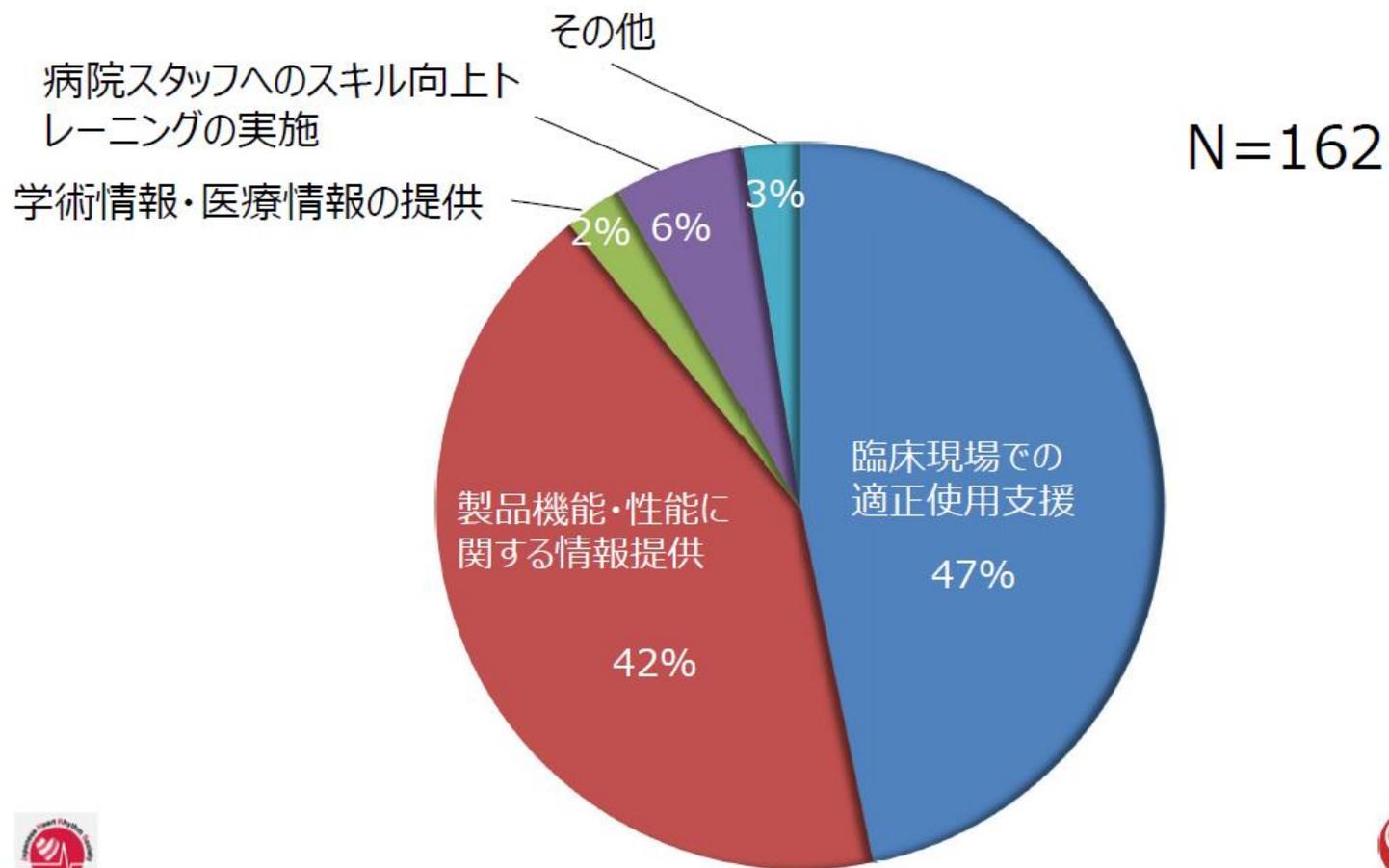
医療機関内におけるCDRの主たる活動は  
現在どのようになっていますか？

その他 (28)	件数
CDRとしての活動は無い。未非取得者と同じ	10
選択肢すべて	9
活動していない	5
OP, フォローアップの代行	2
営業活動	2

# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

医療機関内における実際のCDRの  
主たる活動はどのようなものとなっていますか？

正会員



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

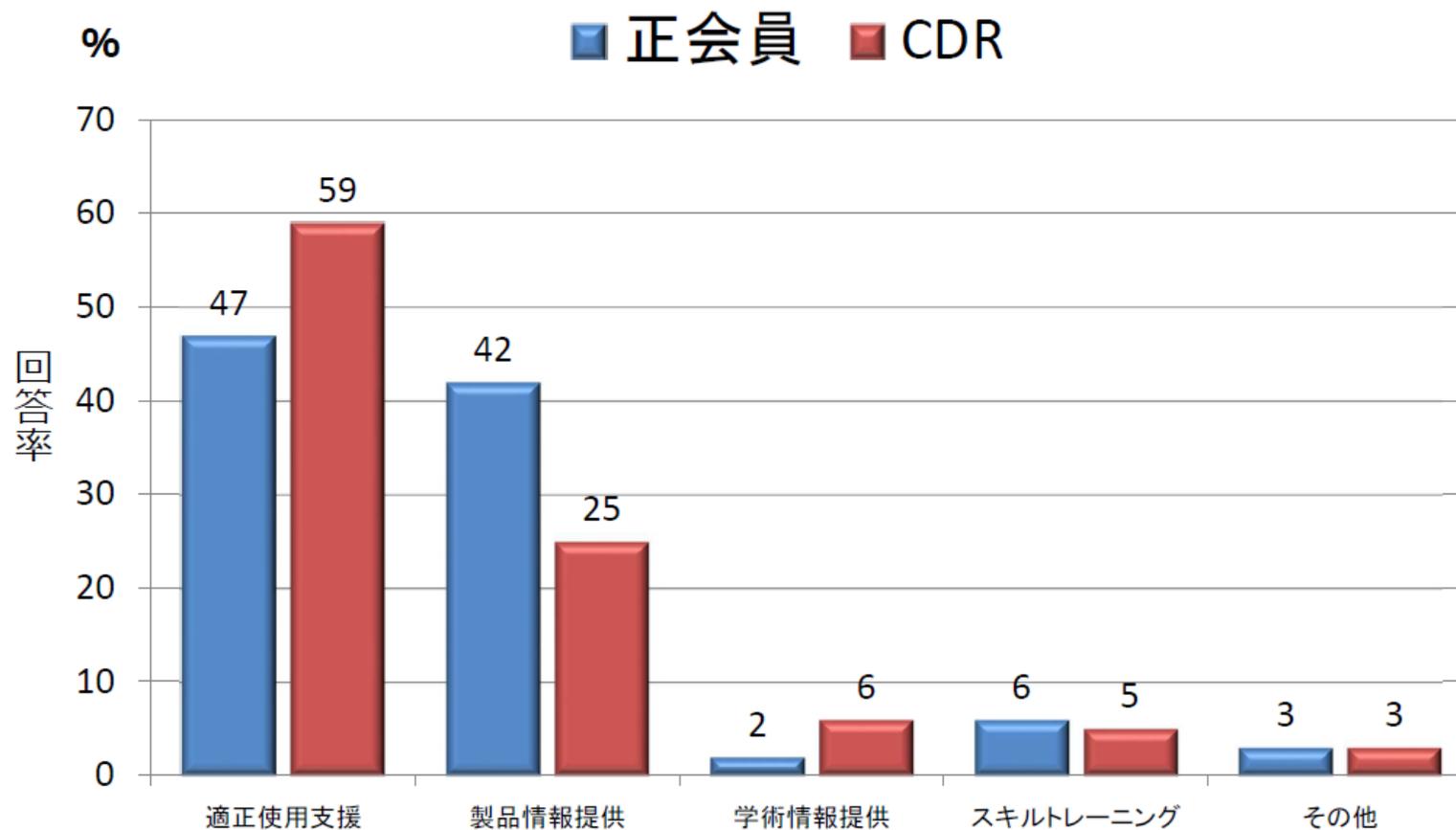
医療機関内におけるCDRの  
主たる活動は現在どのようになっていますか？

正会員

その他 (4)	件数
分からない	2
全て	1
院内臨床工学技士の相談への対応	1

# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

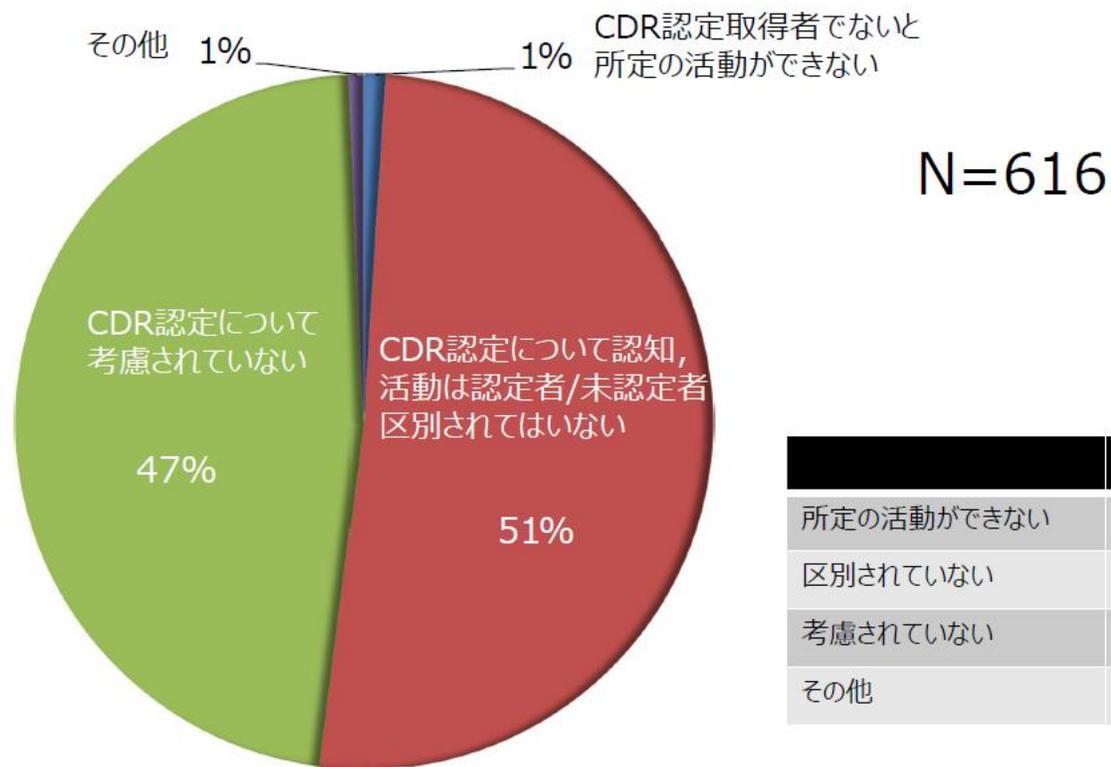
## 現状のCDRの活動内容



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

あなたの主たる担当医療機関での  
現在のCDR受容度はどのようになっていますか？

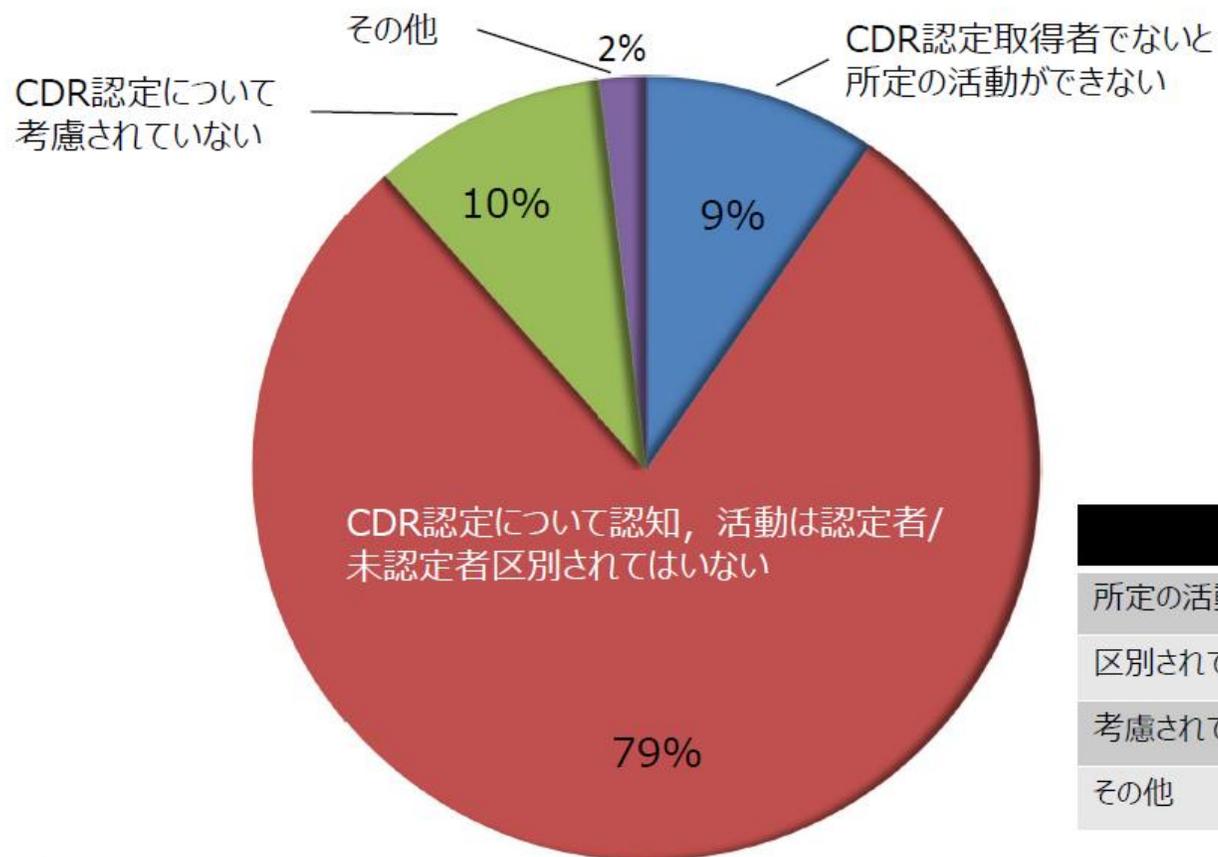
CDR



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

正会員

CDR活動に対して、医療現場においての  
対応に該当するものをお選びください。



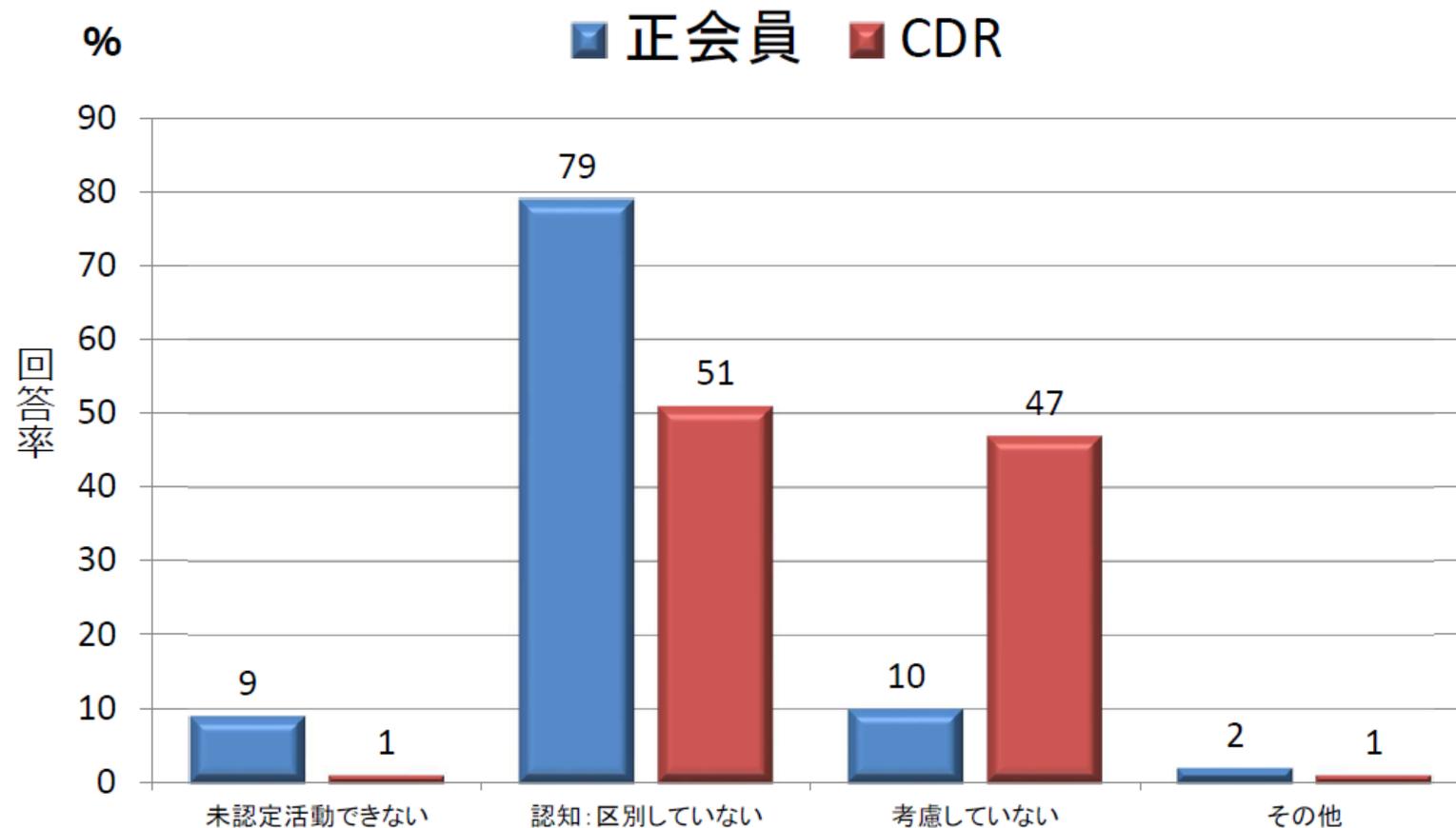
N=162

	人数
所定の活動ができない	16
区別されていない	126
考慮されていない	15
その他	3



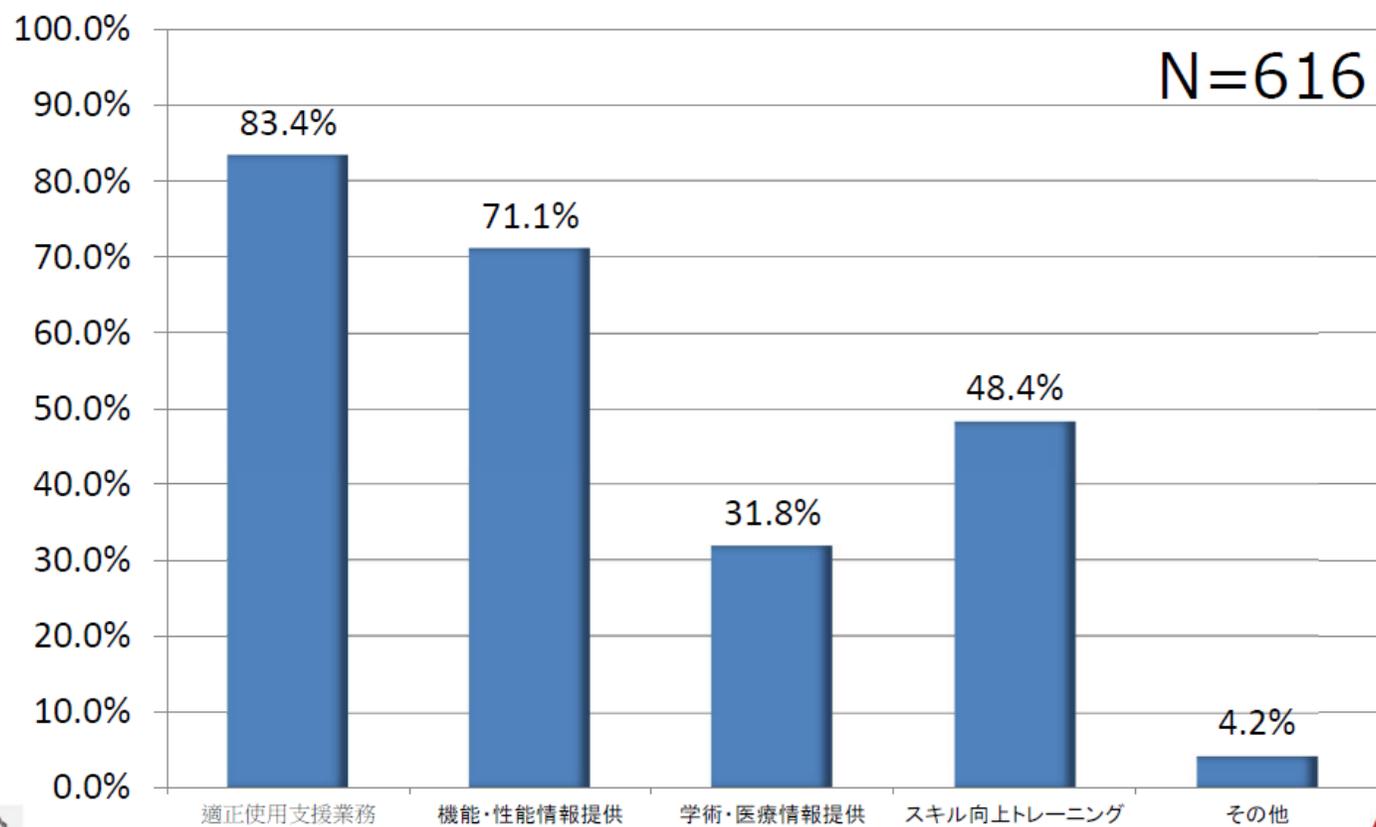
# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

## 医療機関でのCDR認定者への対応



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

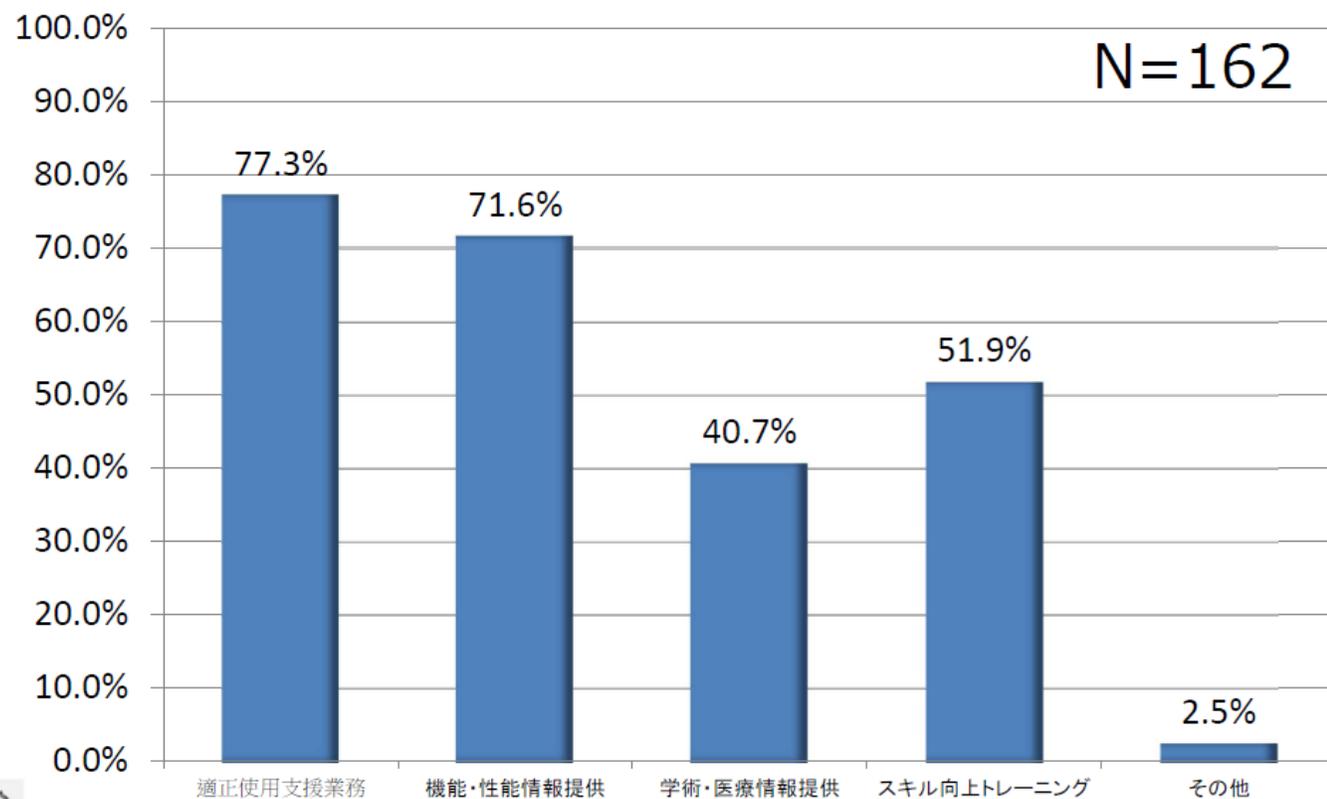
担当施設においては、CDRに対して今後  
どのような役割を期待されますか？（3項目選択）



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

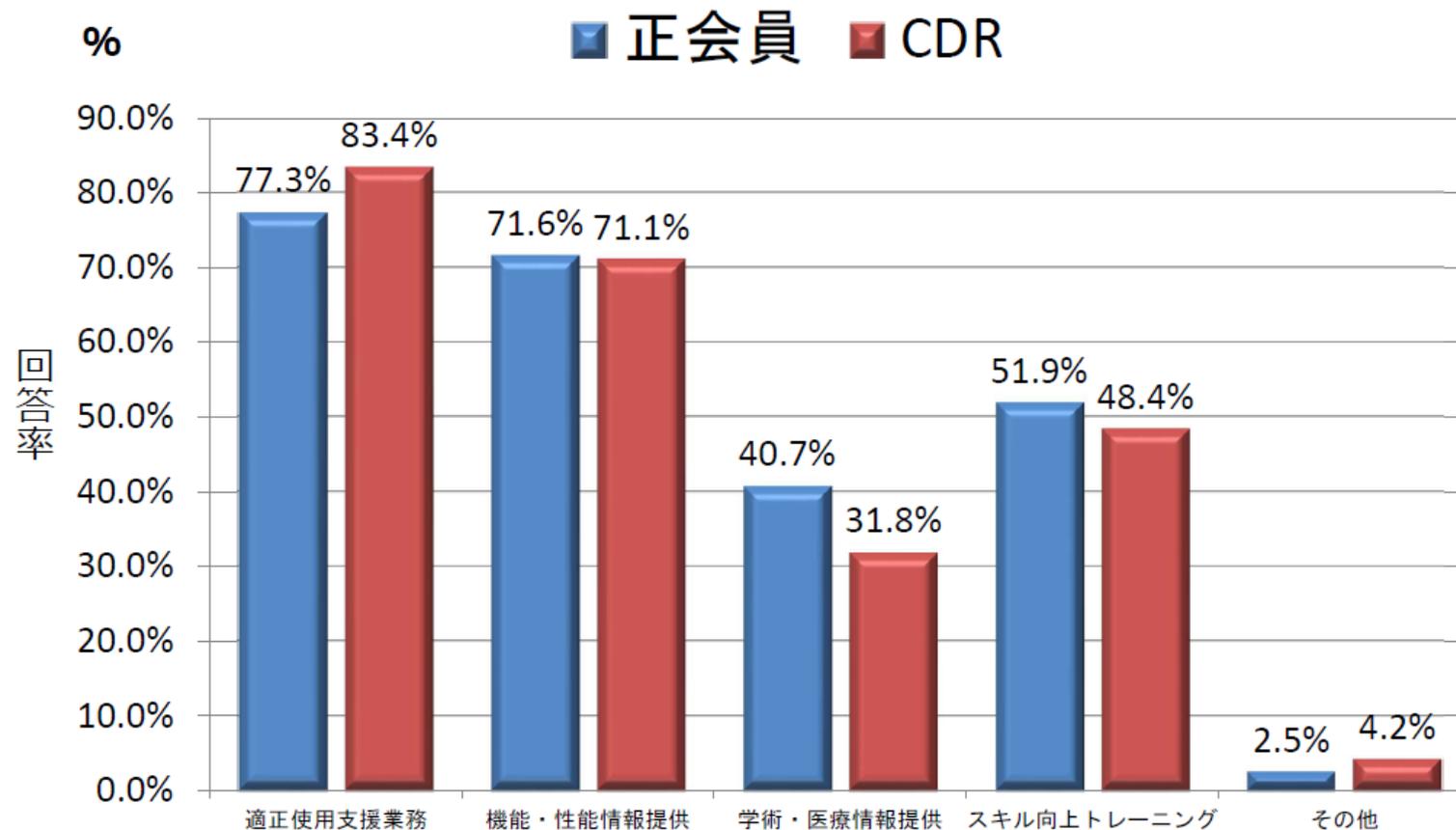
貴施設においては、CDRに対して今後  
どのような役割を期待されますか？（3項目選択）

正会員



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

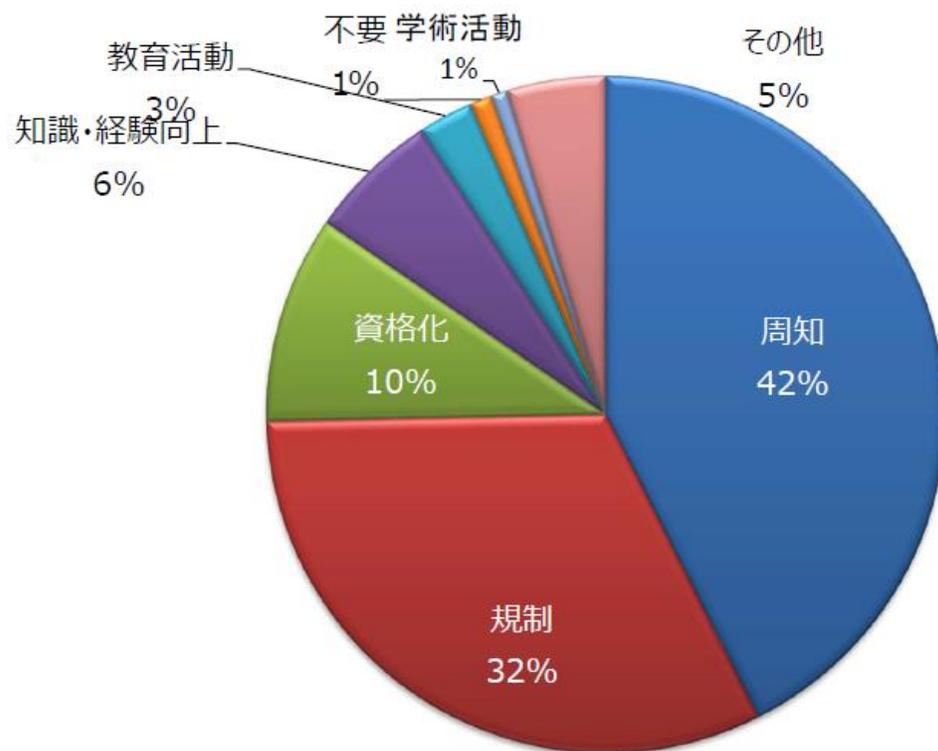
## CDRに期待される役割



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

CDRがより医療現場に受け入れられるために何か必要と思われますか？

CDR



N=383

周知	規制	資格化	知識・経験向上	教育活動	不要	学術活動	その他
163	123	38	24	10	4	3	18



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

CDR

周知（163）	件数
認知度向上	39
公的機関やJHRSのみならず循環器学会など循環器全関連学会からの積極的な啓蒙を通して認知度を向上させる	33
臨床現場のみならず、事務、病院経営層からの理解が得られる様、学会などから病院トップへ働きかけが必要	39
高い知識とスキルを持っていることをアピールし、CDRの重要性への理解を深め、業界から医療従事者にCDRの役割を周知徹底する。	13
メーカーのみならず代理店、医療従事者も取得している制度と言うことを知らしめるとともに、CDR取得率を向上させる	8



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

CDR

規制 (123)	件数
臨床現場での適正使用支援業務について認定者以外の臨床現場への出入りを制限するなどの明確な区別（差別）をする	65
保険点数アップや、立会規制に対する罰則規定を設けて有資格者としての地位を確立させる	14
準医療従事者のような立場にし、場合により医療従事者の方と同様の業務を行えるような明確な法整備をする	13

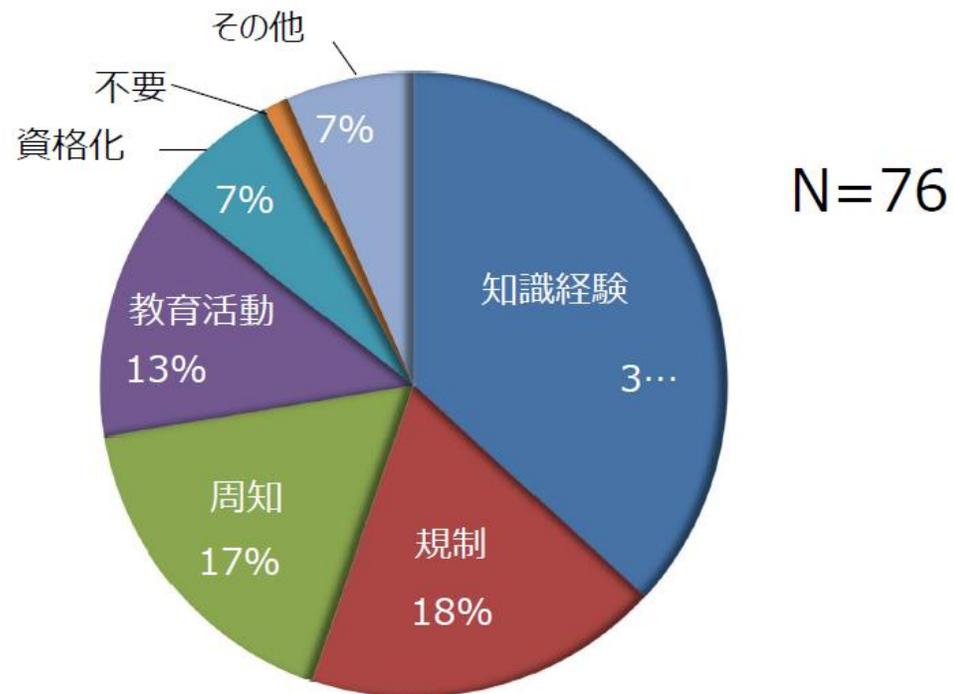
資格化 (38)	件数
法律が許す範囲での医療行為が出来る国家資格にする	14
学会認定資格から国家資格に準ずる認定制度とする	8
循環器内科以外の医師も理解できるように、明確な資格にする。	4



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

CDRが医療機関により評価(必要)とされるために  
今後どの様なことが必要と思われますか？

正会員



知識経験	規制	周知	教育活動	資格化	不要	その他
28	14	13	10	5	1	5



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

正会員

知識経験 (28)	件数
専門化していくデバイス治療についての熟知	12
より正確で公平な情報の提供	8
自社と他社製品を客観的に比較できるスキル	4
トラブルシューティングに対する迅速対応	2

規制 (14)	件数
CDR認定取得の有無による病院内活動の差別化	8
CDRが関わる医療行為に保険加算	3
CDR取得者と未取得者の業務や給与の差別化	3



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

正会員

周知 (13)	件数
医療機関に対する十分な啓蒙活動	6
医療機関でのCDRの業務の必要性をアピール	3
その他	4

教育活動 (10)	件数
医療スタッフのスキル向上のためのサポート	7
医療スタッフのCDR取得サポート	2
医療機関と一体となった積極的サポート	1



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

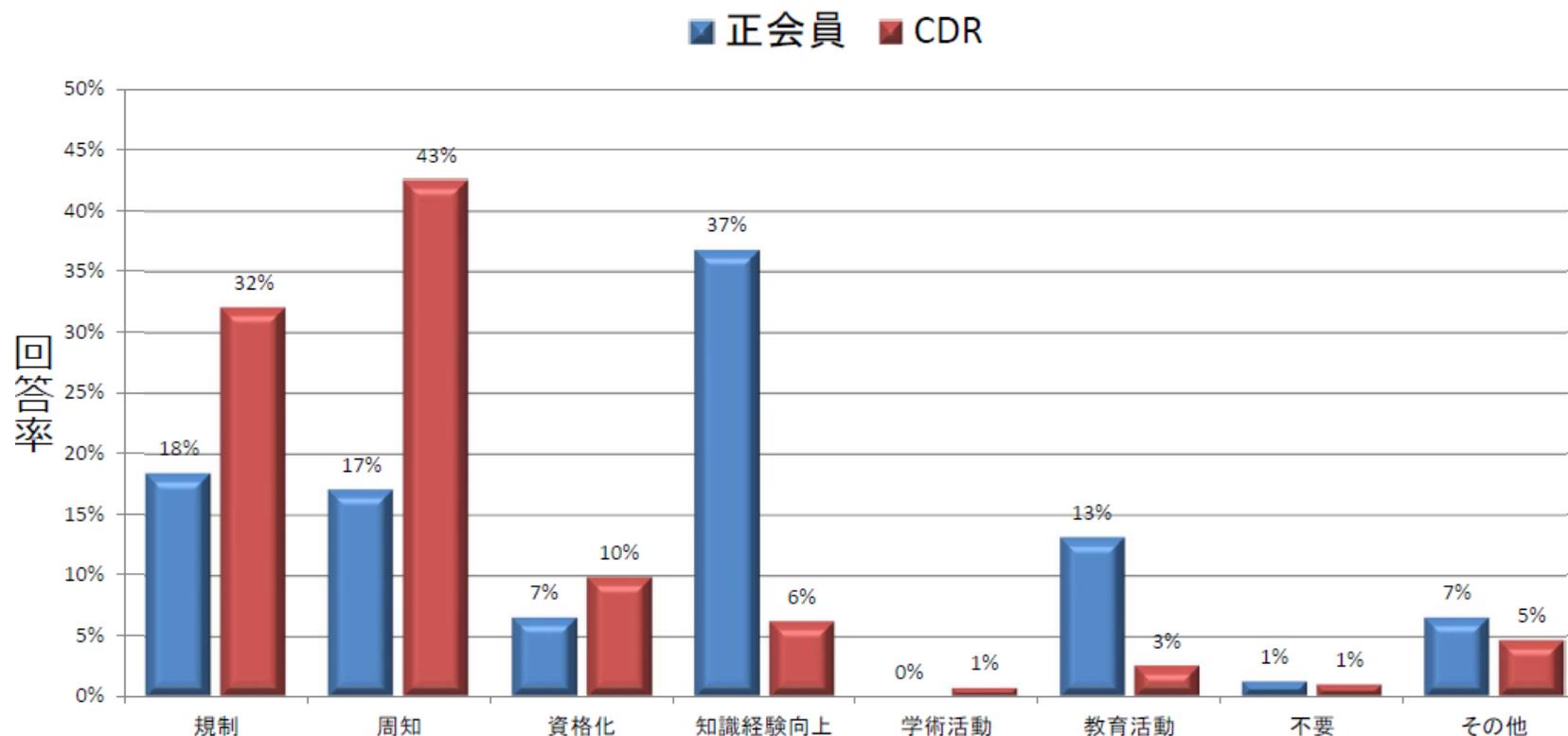
正会員

資格化 (5)	件数
正式に病院に立ち入り出来る様な公的な資格化	3
不整脈心電学会がその権限や資格を明言化	1
資格保持者が、植え込みを直接指導する	1



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

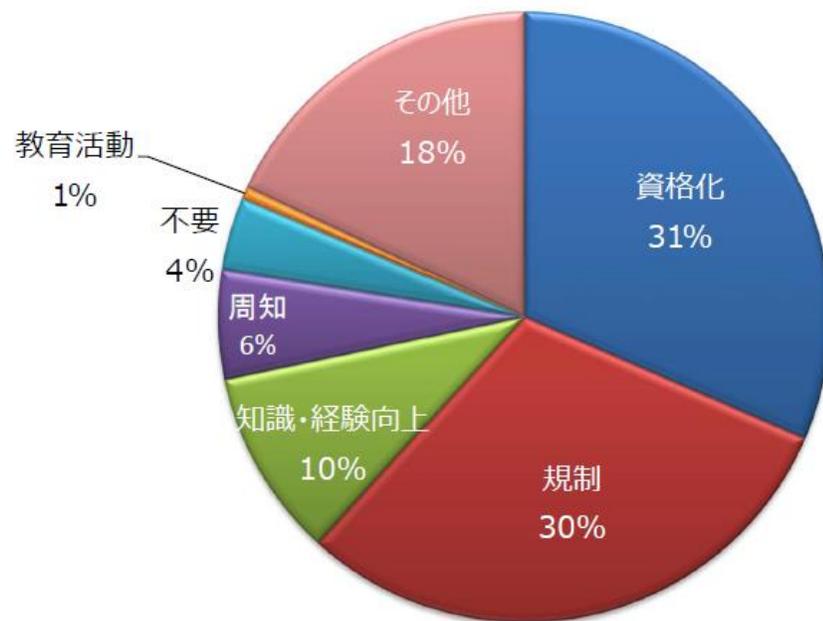
## CDRが医療現場により受容されるための方策



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

CDR認定制度は、将来どのような制度に  
発展していくべきかと思いませんか？

CDR



N=309



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

CDR

資格化 (97)	件数
MR制度と同等な位置付けで、厳格な国家資格（国家資格化）	58
アブレーションや不整脈薬等を含めたより専門性の高い制度として、将来的には専門技師や専門看護師のように国家資格に準ずる制度となる ことが望まれる	27
より資格的要素を強くして、認定を取得していることで価値が高まる制度	8

規制 (94)	件数
立会い規制の徹底と取得者のみデバイス取扱可能な制度とするべき	50
認定者でないと営業活動ができなくなるようなMR資格と同等にするべき。	30
学会において、医療従事者とCDR認定者の位置づけを明確に示し、 デバイス治療のための臨床技術支援には必須の認定制度となること	10



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

知識・経験向上 (31)	件数
定期的な技術アップデート, スキルアップの機会を設けるなど知識・経験の維持・向上が図られる制度	13
臨床現場での適正使用やトラブルシューティングにおいてのアドバイザーを育成する制度となる事が望まれる	6
認定者がアブレーション治療も含めた循環器領域のサポートによって, 医療機関から信頼される制度	5



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

CDR認定制度は、どのような制度に発展していくべきかと思  
いますか？

## その他

テスト内容に問題がある。試験内容が、M社の問題に集中しており、認定時の公平性が無い。また、答えを導き出す為の情報が多く、現場に近い感覚で、より実践的なレベルアップを図ることが出来ていない。

認定制度が逆に我々の活動に制限となり、医療現場に悪影響とならないようになれば良いと思います。最低必要な知識の確認・取得に向け日々学習確認できる制度を構築して欲しい。

更新時のテストは勘弁してほしいです。リスクが高すぎる割に、メリットがほとんどない。資格維持のために、学会やセミナー出席などでポイント制にして、必要ポイントに達していれば資格を更新できるなど、良いのではないかと思います。

再受験の為に、試験対策に費やす時間が日々の業務に支障をきたす為、資格の期限を無期限とし、その分、更新受講の頻度を増やし、最新の情報を習得させるようにして欲しい。

年会費、更新費用など多額であるので考慮してほしい。

より多くの人取得出来るよう受験費用を抑える、任期を伸ばす等の工夫が必要。

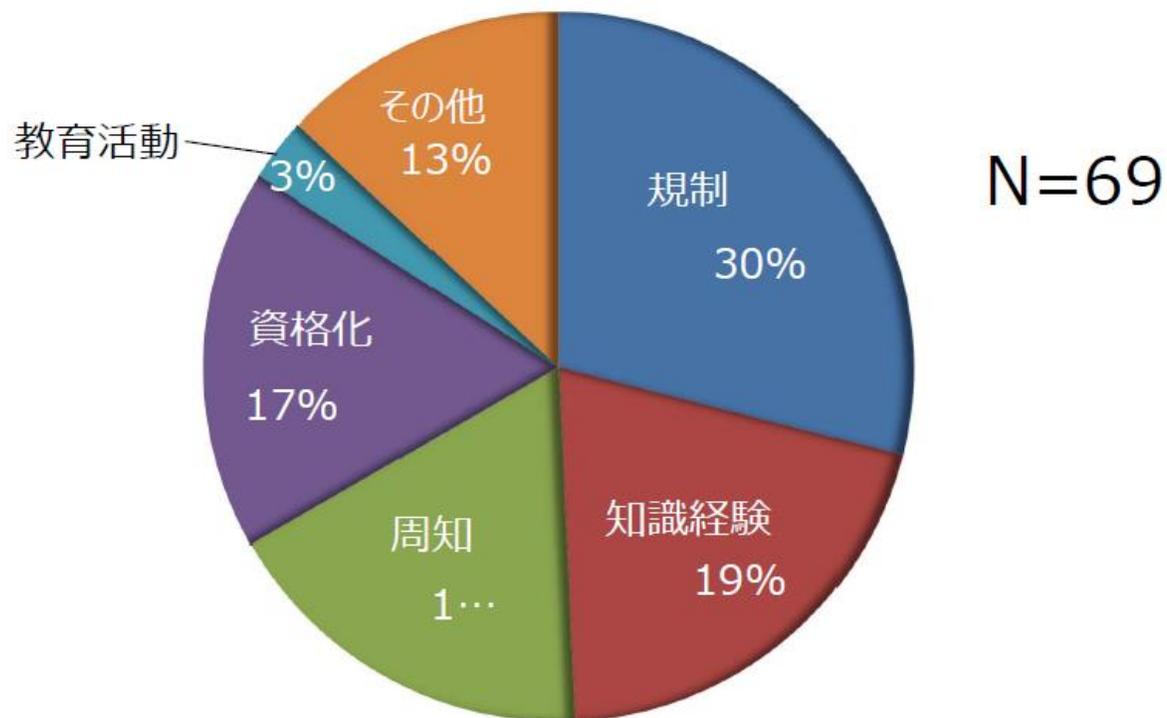
EP部門の認定も視野に入れていただきたい。



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

正会員

CDR認定制度は、将来に向かってどのような制度に発展していくべきと思われますか？



規制	知識経験	周知	資格化	教育活動	その他
20	14	12	12	2	9



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

正会員

規制 (20)	件数
認定取得者と非取得者の医療業務における差別化	11
デバイス業務にCDR認定を義務化	3
CDR資格保持者によるデバイス検査の診療報酬（対価）設定	2
医療従事者との役割を分担	2
医療従事者もCDR認定取得すべき	2

知識経験向上 (14)	件数
自社製品のみならず高い専門性を持つなどの知識向上	5
高い倫理観と知識・技能を持った人材育成	4
臨床現場での適正支援業務の拡大	3
地域によるレベルの差をなくすような認定	1
あくまでも、適正使用やスキルアップのための情報提供者にとどまるべき	1



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

正会員

## 周知 (12)

認定制度の裾野を広げ、デバイス医療に関わる人材に広く認知してもらう  
病院で周知される必要がある。学会でセッションなど行い学術的にリードする  
現在はただの資格にとどまっている状況だが、今後はこの資格を十分に発揮で  
きるような土壌を作る必要がある。

専門性を持たせて、もっと社会が認めてもらいたい  
十分に情報提供がされるべきである など

## 資格化 (12)

	件数
国家資格として認定される発展	4
医療従事者を含めた統一資格に	2
医療スタッフの一員として参加できる制度	2
その他	3



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

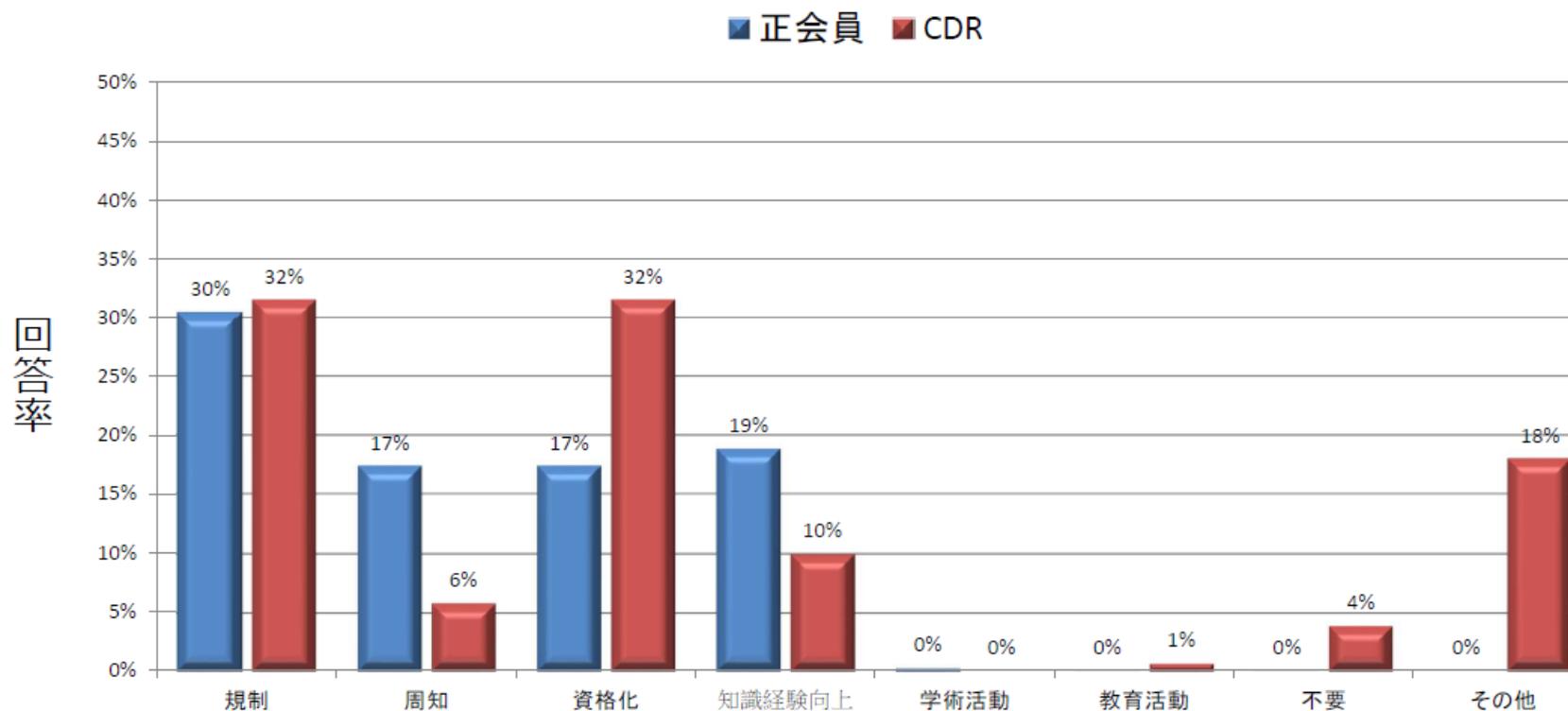
正会員

その他（9）	件数
分からない（5）	5
業者側の利益追求を一番の目標としない（2）	2
植え込まれた患者の立場や環境整備にも配慮してほしい	1
現状の利点を活かしつつも、個々の症例ごとのニーズに合ったサポートが得られるような制度	1



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

## CDR認定制度の将来像



## まとめ

### ① CDRの認知度

CDR認定者が考えるほど医療機関側のCDR認定に関する認知は低い。

### ② CDRの活動内容の現状

CDR認定者の主要業務は依然として医療現場（植込み手術またはデバイス外来等）における適正使用支援であるが、医療現場以外での情報提供あるいは医療従事者に対する教育活動へ移行している状況が伺える。

# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

---

## ③ 医療機関でのCDR認定者への対応

現状において、半数以上の医療機関においてはCDR認定取得の有無が把握されているが、認定者と非認定者への対応に区別（差別）を施している実態は少ない

## ④ CDR認定者に期待される役割

CDRの役割に関する期待についての認識は、CDR認定取得者と医療機関との間にほぼ差はない



# 医療機関に於けるCDRの活動」に関するアンケート調査結果

## ⑤ CDRが医療現場により受容されるための方策

認定者が医療機関により受け入れられるための方策には、認定者と医療機関に若干の差が存在。CDR認定者は、医師のみならず医療機関側で認定者の位置付けを向上する行動が必要、医療機関では日常の診断・治療に役立つサポートを具体的に示すべく研鑽が必要との意見。

## ⑥ CDR認定制度の将来像

CDRは元来、認定制度であるがデバイス治療・診断に携わるものに対する資格化、あるいは必須の制度とすべきとの意見が多い。

